

「対話・共創の場」(第9回)

JaLCにおける海外連携について

2022年12月15日

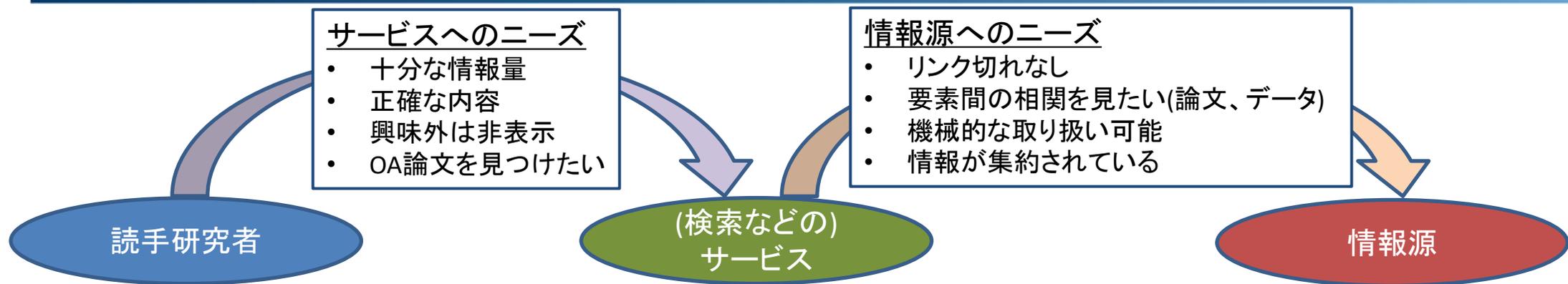
国立研究開発法人科学技術振興機構
情報基盤事業部研究成果連携グループ(JaLC事務局)
平尾 義郎



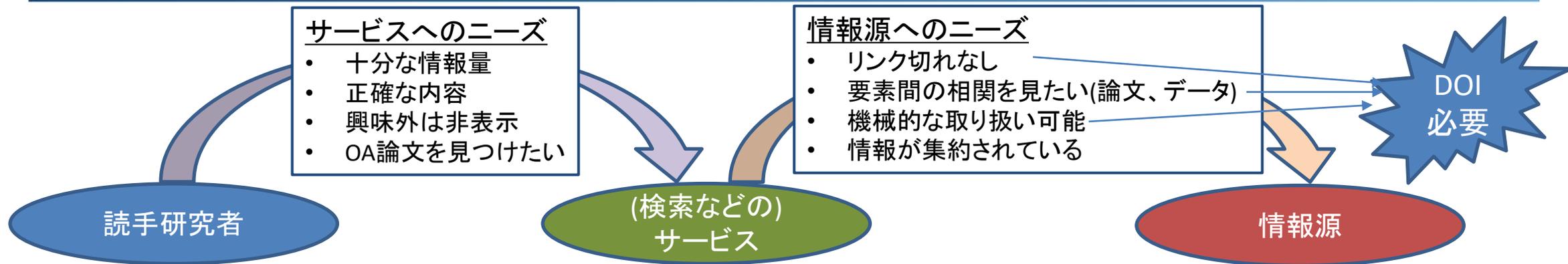
科学技術振興機構



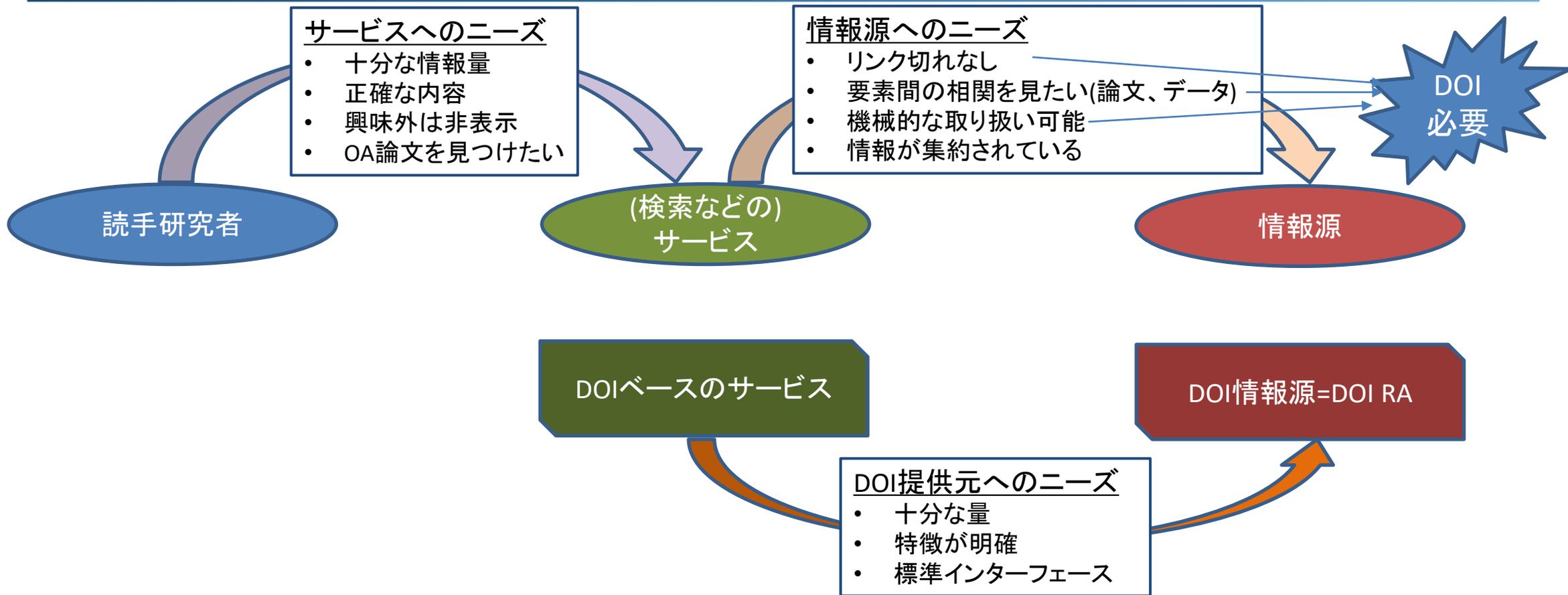
研究成果情報を届ける仕組み – プレイヤーとニーズ –



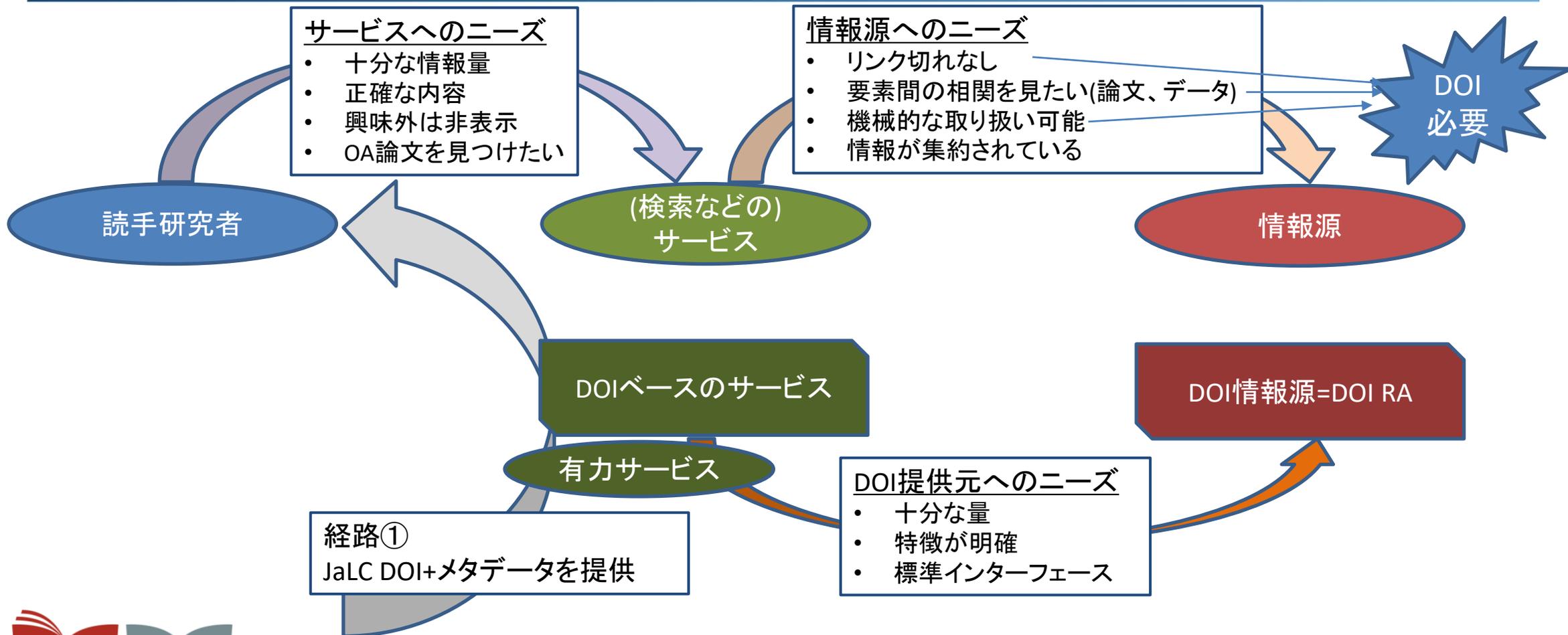
研究成果情報を届ける仕組み - プレイヤーとニーズ -



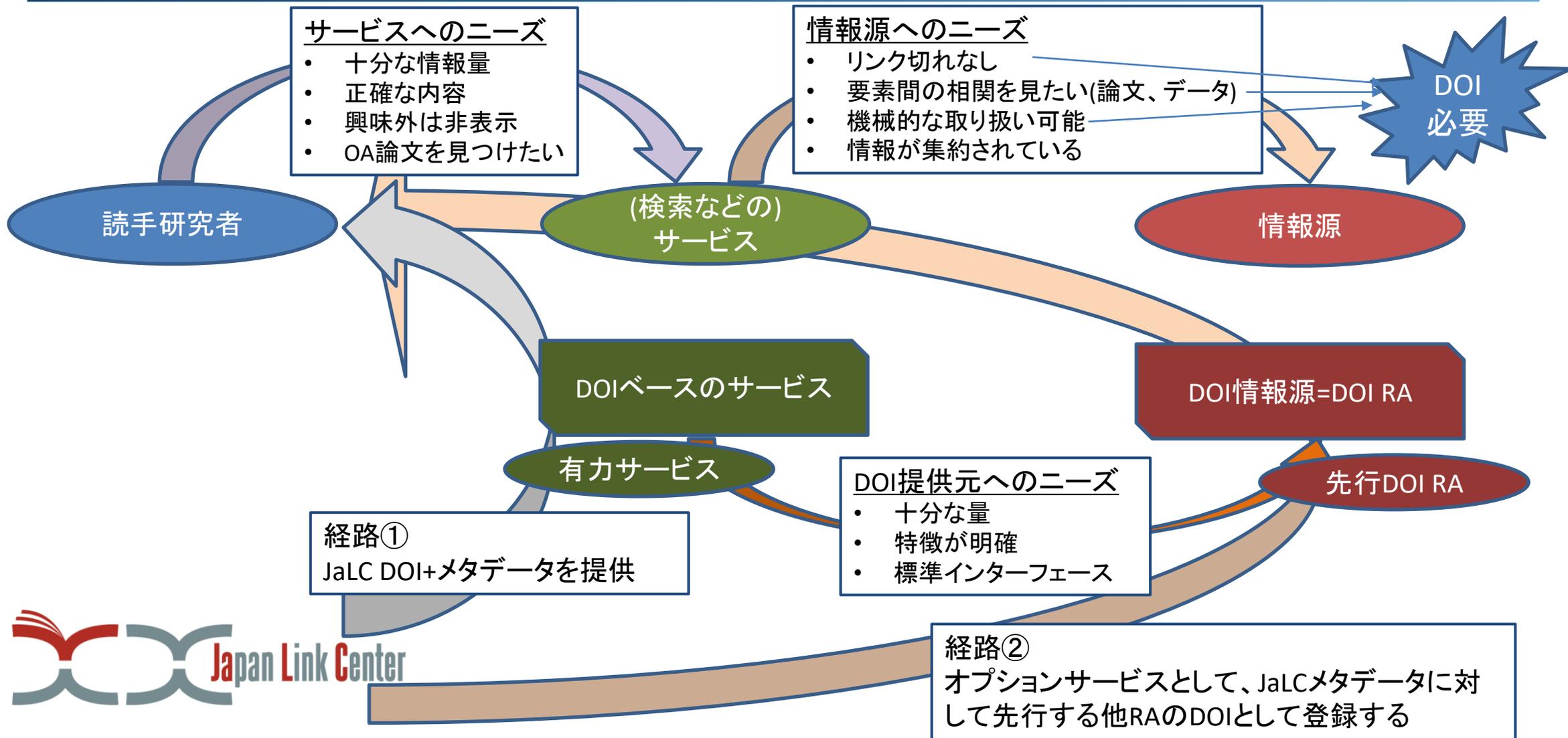
研究成果情報を届ける仕組み - プレイヤーとニーズ -



研究成果情報を届ける仕組み - プレイヤーとニーズ -



研究成果情報を届ける仕組み - プレイヤーとニーズ -



データ提供連携先 (1/2)

経路①

状況	機関およびサービス	概要
サービス提供中	国内機関	NII(国立情報学研究所)、NDL(国立国会図書館)、JST総合知識管理システム
	ORCID	ORCIDは研究者を特定するID。JaLCとシステム連携を行ない、JaLCに登録された研究成果をORCIDの研究成果として登録可能。
	ThirdIron	BrowZine(学術図書館のための電子ジャーナル閲覧支援システム)やLibKey(購読・オープンアクセス誌に掲載されたフルテキストへのワンクリックアクセス)などのサービスを提供している。
サービス提供予定	turnitin/iThenticate 類似性チェックサービス	研究者と学術出版社にとっての標準の類似性チェックツール。
アプローチ中	OpenCitations	オープンな書誌データ・引用データ公開を通してオープンスカラシップの推進に取り組む非営利団体。Crossref DOIを使用した"COCI, the OpenCitations Index of Crossref open DOI-to-DOI citations"を提供している。COCIは5,800万件以上の文献間の引用関係として7億2,000万件以上のオープン化された引用データを提供している。

データ提供連携先(2/2)

経路①

状況	機関およびサービス	概要
アプローチ中	CHORUS	2013年に米国で公的助成を受けた研究成果へのアクセス拡大を図るために設立された非営利団体CHOR, Inc.が提供するオンライン上のダッシュボードサービス。資金提供機関向けダッシュボードと研究機関向けダッシュボードがあり、資金提供を行なった/受けた研究成果とオープンアクセス状況をモニタリングし、ダッシュボード上に表示している。
	Unpaywall	Our Researchの提供するオープンアクセスの論文情報を集約するサービス。約3千4百万件の無料の学術論文のオープンデータベースを有し、5万を超える出版者とリポジトリからオープンアクセス・コンテンツを収集し、簡単に検索、追跡、使用できるようにしている。無料版の論文を探してくれるブラウザ(ChromeとFirefoxに対応)拡張機能も提供しており、一般的にはこちらで認識されている。
	PID Graph/ DataCite Commons	DataCiteが提供する永続的識別子(PID)の付与された学術リソースとリソース間の関連性を視覚化するサービスが“PID Graph”で、そのウェブ検索インターフェースが“DataCite Commons”。DataCiteやCrossrefなどの、どのDOI登録機関が登録したDOIであるかを問わず、DOIの横断検索が可能となることが特徴。
	Mendeley	Elsevierが提供する文献管理ソフトウェア。研究論文を管理および共有し、学術論文の参考文献を生成するために使用される。入力したDOIやインポートしたPDFに記載されたDOIからメタデータ情報を表示するなどの、DOI連携機能がある。
	EndNote	Clarivateが提供する文献管理ソフトウェア。研究論文を管理および共有し、学術論文の参考文献を生成するために使用される。入力したDOIやインポートしたPDFに記載されたDOIからメタデータ情報を表示するなどの、DOI連携機能がある。

国際流通性のより高いDOI



Crossrefは、2000年に非営利団体である出版社国際リンク協会 (PILA: Publishers International Linking Association, Inc) がオンライン上の**学術誌同士を持続的にリンク**できるような仕組みを提供するために設立された。DOI登録と関連サービスを提供している。DOI登録数は約1億4千万件で世界シェア47%(DOI財団発表、本年10月3日付け)。歴史、背景、多数の登録DOIにより、**情報流通サービスのほとんどで利用されている**。

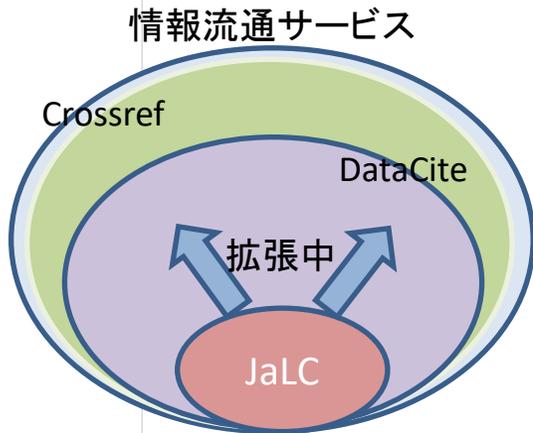
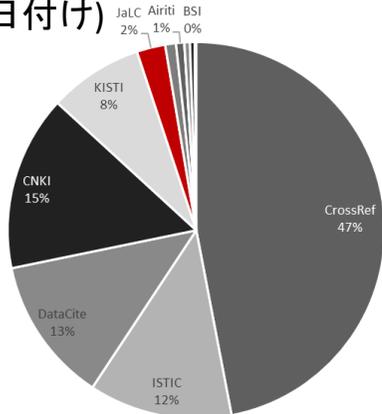


DataCiteは2009年12月に北米・欧州6ヶ国の組織によって設立された、**データ引用**を改善することを目的とした国際的な非営利団体。主に**研究データ**に注力したDOI登録と関連サービスを提供している。近年は、論文などにコンテンツを拡大しているが、JaLCからは研究データのみの登録となる。DOI登録数は約3千8百万件で世界シェア12.5%(DOI財団発表、本年10月3日付け)。歴史、特徴(研究データに強い)、多数の登録DOIにより、**多くのサービス(特にデータ引用に注目するサービス)で利用されている**。

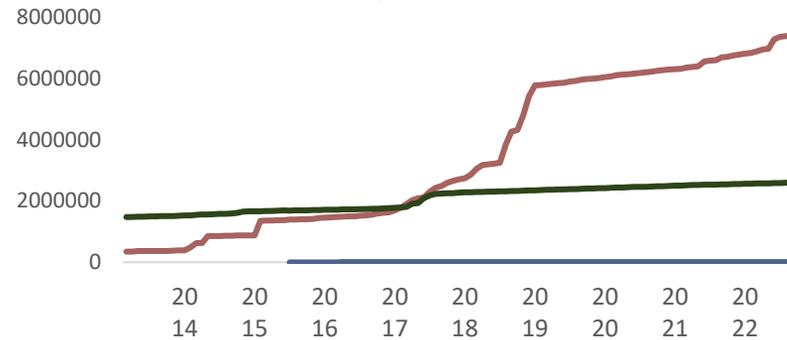
これらのDOIで登録する**利点**
 多くのサービスで利用されている → 国際流通性が高い

これらのDOIで登録する時の**注意点**
 JaLC年会費に加えて追加料金発生

世界のDOI登録数
 (DOI財団発表、
 本年10月3日付け)



JaLCにおけるDOI登録状況



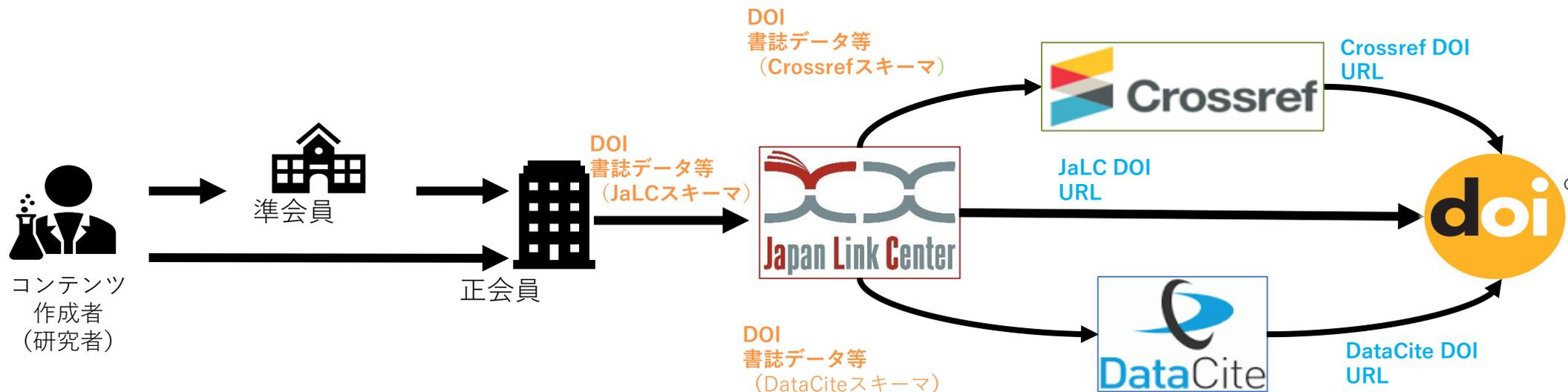
JaLC登録DOI
 7,451,316

Crossref登録DOI
 2,598,923

DataCite登録DOI
 3,203
 (本年11月30日)

JaLCにおけるDOI登録の流れ

経路②



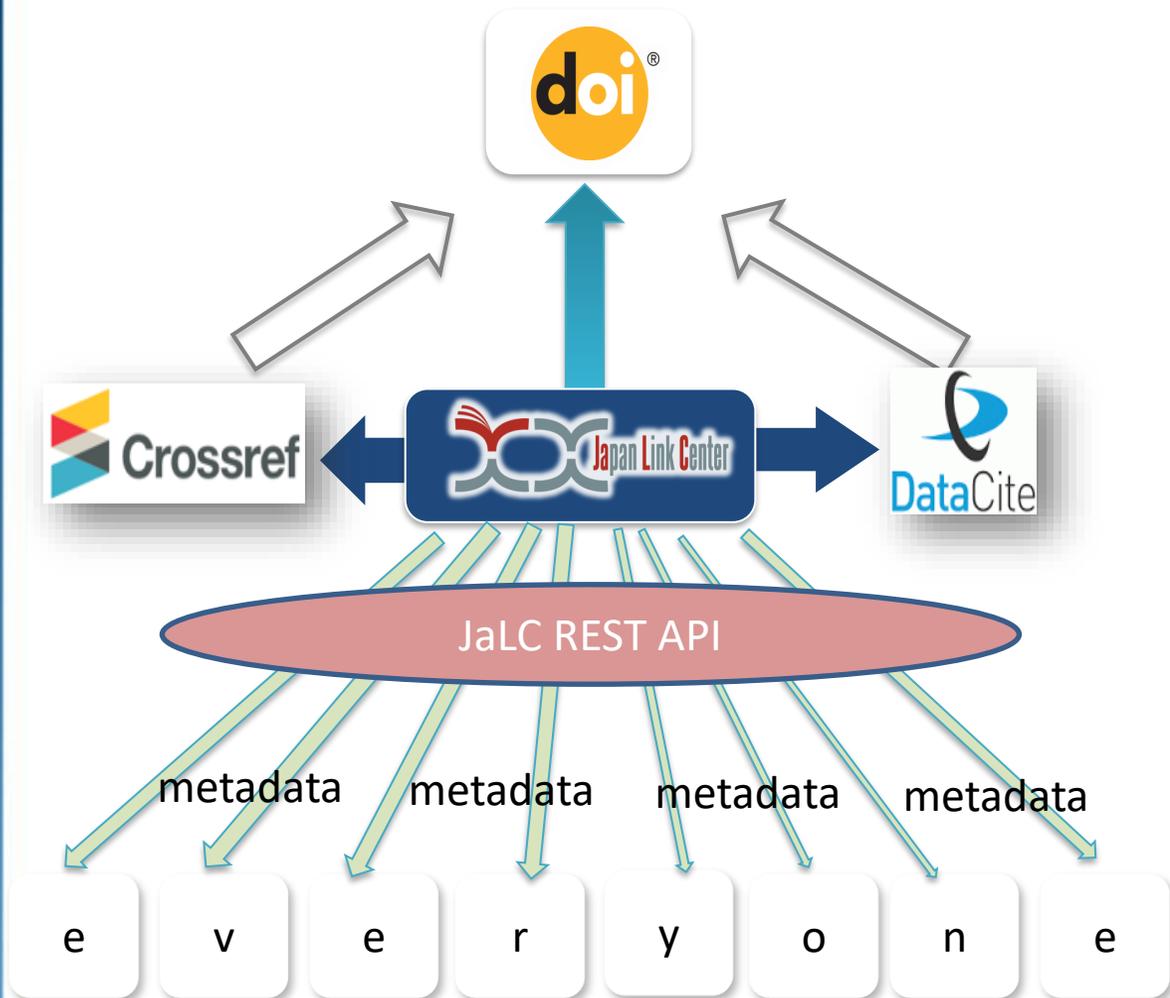
JaLC会員

- メタデータ(コンテンツ書誌情報、抄録、DOIなど)をJaLCスキーマにてJaLCに登録

JaLC

- RAとしてDOI、URLをDOI財団に登録
- メタデータを管理
- JaLCの二つの役割
 - DOI登録機関(RA)
 - Crossref、DataCiteの会員機関
- 学術論文・書籍はJaLCおよびCrossrefにDOI登録可能
- 研究データはJaLCおよびDataCiteにDOI登録可能
- いずれの場合もJaLCへの登録はJaLCスキーマ

JaLC全体イメージ



- 複数の役割によるOne Stopサービスの提供
日本のRA /Crossrefメンバー/DataCiteメンバー
- JaLC会員は三種のDOIを選択可能(プリフィックス単位)
JaLC DOI/Crossref DOI/DataCite DOI
- どのDOIを選択した場合でも、JaLC会員は
 - ✓ Crossref/DataCiteシステムへのログインなく
 - ✓ JaLCシステムへJaLCスキーマでメタデータを登録
 - ✓ JaLCシステムがCrossref/DataCiteスキーマに変換し、Crossref/DataCiteシステムにメタデータ、DOI登録
→JaLCシステムに日本の学術成果情報が蓄えられる
- メタデータオープン化施策に伴いリリースされたJaLC REST APIにより誰でもJaLCのメタデータにアクセス可能
- JaLC正会員、連携機関は更にOAI-PMHインターフェースも利用可能

ありがとうございます